

平成 1 6 年度

二級実験動物技術師認定試験  
(高校生)

**各 論**  
(マウス・ラット・その他の小動物)

試験時間：13時00分～15時00分

解答は答案用紙の該当欄の を鉛筆で黒く塗りつぶして下さい。  
をはみ出したり塗りつぶし方が不十分にならないよう注意して下さい。

平成 1 6 年 8 月 1 5 日

(社) 日本実験動物協会

## 各論：マウス・ラット・その他の小動物

---

それぞれの設問について、該当するものを選び、解答用紙の該当欄の を鉛筆で黒く塗りつぶして下さい。

---

### 〔問題〕

1. 下記のうち、正しい説明をひとつ選びなさい。

- 1) マウスは肉食性で歯は不換性歯である。
- 2) マウスは草食性で歯は不換性歯である。
- 3) マウスは雑食性で歯は不換性歯である。
- 4) マウスは雑食性で歯は一換性歯である。

2. 下記のうち、正しい説明をひとつ選びなさい。

- 1) マウスの雌の膣開口は5～10日齢頃に認められる。
- 2) マウスの雌の膣開口は10～15日齢頃に認められる。
- 3) マウスの雌の膣開口は25～30日齢頃に認められる。
- 4) マウスの雌の膣開口は45～50日齢頃に認められる。

3. 下記のうち、正しい説明をひとつ選びなさい。

- 1) マウスの性周期は通常2～3日周期である。
- 2) マウスの性周期は通常4～6日周期である。
- 3) マウスの性周期は通常7～10日周期である。
- 4) マウスの性周期は通常19～21日周期である。

4. 下記のうち、正しい説明をひとつ選びなさい。

- 1) マウスの乳房の数は10である。
- 2) マウスの乳房の数は12である。
- 3) マウスの乳房の数は14である。
- 4) マウスの乳房の数は16である。

5. 下記のうち、正しい説明をひとつ選びなさい。

- 1) マウスの性周期が安定するのは40日齢前後である。
- 2) マウスの性周期が安定するのは60日齢前後である。
- 3) マウスの性周期が安定するのは80日齢前後である。
- 4) マウスの性周期が安定するのは100日齢前後である。

6 . 下記のうち、正しい説明をひとつ選びなさい。

- 1 ) マウスの交配は一般に3週齢頃に開始される。
- 2 ) マウスの交配は一般に8週齢頃に開始される。
- 3 ) マウスの交配は一般に15週齢頃に開始される。
- 4 ) マウスの交配は一般に30週齢頃に開始される。

7 . 下記のうち、正しい説明をひとつ選びなさい。

- 1 ) マウスの妊娠期間と哺乳期間はほぼ等しく18～21日である。
- 2 ) マウスの妊娠期間と哺乳期間はほぼ等しく22～24日である。
- 3 ) マウスの妊娠期間と哺乳期間はほぼ等しく25～30日である。
- 4 ) マウスの妊娠期間と哺乳期間はほぼ等しく32～36日である。

8 . 下記のうち、正しい説明をひとつ選びなさい。

- 1 ) マウスの出生子の耳が開くのは生後2～3日頃である。
- 2 ) マウスの出生子の耳が開くのは生後5～6日頃である。
- 3 ) マウスの出生子の耳が開くのは生後8～10日頃である。
- 4 ) マウスの出生子の耳が開くのは生後12～16日頃である。

9 . 下記のうち、正しい説明をひとつ選びなさい。

- 1 ) マウスの出生子の眼が見えるようになるのは7日頃である。
- 2 ) マウスの出生子の眼が見えるようになるのは9日頃である。
- 3 ) マウスの出生子の眼が見えるようになるのは12日頃である。
- 4 ) マウスの出生子の眼が見えるようになるのは16日頃である。

10 . 下記のうち、正しい説明をひとつ選びなさい。

- 1 ) マウスの出生子が飼料を食べ始めるのは10日頃からである。
- 2 ) マウスの出生子が飼料を食べ始めるのは15日頃からである。
- 3 ) マウスの出生子が飼料を食べ始めるのは22日頃からである。
- 4 ) マウスの出生子が飼料を食べ始めるのは28日頃からである。

11 . 系統名と毛色の組み合わせとして、正しいものをひとつ選びなさい。

- 1 ) A ( 黒色 )
- 2 ) AKR ( アルビノ )
- 3 ) BALB/c ( 野生色 )
- 4 ) CBA ( アルビノ )

1 2 . 系統名と毛色の組み合わせとして、正しいものをひとつ選びなさい。

- 1 ) C3H/He (アルビノ)
- 2 ) C57BL/6 (黒色)
- 3 ) DBA/2 (シナモン色)
- 4 ) NC (淡いチョコレート色)

1 3 . クローズドコロニーの組み合わせとして、正しいものをひとつ選びなさい。

- 1 ) ICR ddY CFW CF1
- 2 ) ICR ddY CFW C57BL/6
- 3 ) ICR ddY CBA CF1
- 4 ) ICR C3H CFW CF1

1 4 . ミュータント系の組み合わせとして、正しいものをひとつ選びなさい。

- 1 ) BALB/c-nu C57BL/6J-Lep<sup>ob</sup> NOD ICR
- 2 ) BALB/c-nu C57BL/6J-Lep<sup>ob</sup> CFW NZB
- 3 ) BALB/c-nu CF1 NOD NZB
- 4 ) BALB/c-nu C57BL/6J-Lep<sup>ob</sup> NOD NZB

1 5 . マウスが実験動物の中でよく使用されている理由をひとつ選びなさい。

- 1 ) 大型であるが飼育スペースを要しない。
- 2 ) 遺伝的背景が明確である。
- 3 ) 世代期間が長く、産子数が多い。
- 4 ) 成長が遅い。

1 6 . 下記のうち、正しい説明をひとつ選びなさい。

- 1 ) HVJ感染症では、MHV感染症と同様、剖検で肝臓の褪色、萎縮などが観察される。
- 2 ) 乳子を取り扱う場合、成熟動物と同様に尾をつかむ。
- 3 ) ハーレム方式の交配とは、雄1匹に雌数匹を同居させることである。
- 4 ) 雌は雄に比べて、肛門と外部生殖器の距離が長い。

1 7 . 下記のうち、正しい説明をひとつ選びなさい。

- 1 ) 色素塗布法(個体識別)で頭と背中にマークがある動物の個体番号は4である。
- 2 ) マウスの染色体数は、ラットと同じ $2n = 42$ である。
- 3 ) マウスには胆嚢がない。
- 4 ) 後分娩発情とは、分娩後4~6日目に見られる発情をいう。

18. 下記のうち、正しい説明をひとつ選びなさい。

- 1) ケージ交換で動物を新しいケージに移す時、動物の行動、被毛の色、つや、汚れ、脱毛と外傷の有無などを観察する。
- 2) ケージ本体は1回/月、蓋と給餌器は1回/週を目安にそれぞれ交換する。
- 3) オートクレーブの滅菌条件は、100℃、60分である。
- 4) 飼育室の拭き掃除には、速効性のヨード系消毒剤がよく用いられるが、種々の細菌やウィルスにも有効なホルマリンと使い分けると有効である。

19. 下記のうち、正しい説明をひとつ選びなさい。

- 1) シリアンハムスターは昼光性の動物で、夜間はかなりの刺激を与えない限り寝ている。
- 2) シリアンハムスターは夜行性の動物で、昼間はかなりの刺激を与えない限り寝ている。
- 3) ハムスター類の代表的な特徴は両頬に砂のうを有していることである。
- 4) ハムスター類の代表的な特徴は両頬に嚢を有していることである。

20. 下記のうち、正しい説明をひとつ選びなさい。

- 1) シリアンハムスターの染色体数は $2n = 22$ である。
- 2) シリアンハムスターの染色体数は $2n = 42$ である。
- 3) シリアンハムスターの染色体数は $2n = 44$ である。
- 4) シリアンハムスターの染色体数は $2n = 78$ である。

21. 下記のうち、正しい説明をひとつ選びなさい。

- 1) シリアンハムスターの1日1匹当りの摂餌量は3～5gである。
- 2) シリアンハムスターの1日1匹当りの摂餌量は10～15gである。
- 3) シリアンハムスターの1日1匹当りの摂餌量は16～20gである。
- 4) シリアンハムスターの1日1匹当りの摂餌量は21～25gである。

22. 下記のうち、正しい説明をひとつ選びなさい。

- 1) ハムスター類では飼育室の照明時間を8時間明とする。
- 2) ハムスター類では飼育室の照明時間を10時間明とする。
- 3) ハムスター類では飼育室の照明時間を12時間明とする。
- 4) ハムスター類では飼育室の照明時間を14時間明とする。

23. 下記のうち、正しい説明をひとつ選びなさい。

- 1) シリアンハムスターの腹部皮膚にはたるみが多いので、しっかりと動物の動きを止めたい場合は、腹部の皮膚を大きくつかむのがこつである。
- 2) シリアンハムスターの腰背部皮膚にはたるみが多いので、しっかりと動物の動きを止めたい場合は、臀部の皮膚を大きくつかむのがこつである。
- 3) シリアンハムスターの背部皮膚にはたるみが多いので、しっかりと動物の動きを止めたい場合は、頸頭部から腰部にかけての皮膚を大きくつかむのがこつである。
- 4) シリアンハムスターの背部皮膚は緊張しているので、しっかりと動物の動きを止めたい場合は、前肢を大きくつかむのがこつである。

24. 下記のうち、正しい説明をひとつ選びなさい。

- 1) 幼若なハムスターの性別判定は、肛門と外部生殖器の距離で判定する。雌に比べて雄の方が短い。
- 2) 幼若なハムスターの性別判定は、肛門と外部生殖器の距離で判定する。雌に比べて雄の方が長い。
- 3) 幼若なハムスターの性別判定は、肛門と外部生殖器の隆起具合で判定する。雌に比べて雄の方が陥没している。
- 4) 幼若なハムスターの性別判定は、肛門と外部生殖器の隆起具合で判定する。雄に比べて雌の方が隆起している。

25. ラットの経口投与時の保定法として、正しいものをひとつ選びなさい。

- 1) 右手で尾の根部をつかみ、やや尾を引くようにしてから、左手の小指と中指で頸部から背部にかけての皮膚をつかむ。そして、残りの3本の指で背中全体を包み込むように保定する。
- 2) 右手で尾の根部をつかみ、やや尾を引くようにしてから、左手の親指と人差し指、中指で頸部から背部にかけての皮膚をつかむ。そして、残りの3本の指で腹部全体を腹側から包み込むように保定する。
- 3) 右手で尾の根部をつかみ、やや尾を引くようにしてから、左手の親指と人差し指、中指で両耳をつかむ。そして、残りの2本の指で背中全体を包み込むように保定する。
- 4) 右手で尾の根部をつかみ、やや尾を引くようにしてから、左手の親指と人差し指、中指で頸部から背部にかけての皮膚をつかむ。そして、残りの指で背中全体を包み込むように保定する。

- 26 . ラットの筋肉内投与を二人で行う場合、保定者の保定法として正しいものはどれか。
- 1 ) ラットの右前肢と頭部を保定者の親指と人差し指で取り囲むようにしてつかみ、左前肢は中指と薬指で挟むように持ち、もう一方の手で、ラットの後肢の先端をしっかりと固定し、術者の前に差し出す。
  - 2 ) ラットの右前肢と頭部を保定者の親指と人差し指で取り囲むようにしてつかみ、左前肢は中指と薬指で挟むように持ち、もう一方の手で、腰背部をしっかりと固定し、術者の前に大腿部を差し出す。
  - 3 ) ラットの左前肢と頭部を保定者の親指と人差し指で取り囲むようにしてつかみ、右前肢は中指と薬指で挟むように持ち、もう一方の手で、ラットの臀部をおさえながら親指で後肢の付け根をしっかりと固定し、術者の前に差し出す。
  - 4 ) ラットの右前肢と頭部を保定者の親指と人差し指で取り囲むようにしてつかみ、左前肢は中指と薬指で挟むように持ち、もう一方の手で、ラットの臀部をおさえながら親指で後肢の付け根をしっかりと固定し、術者の前に差し出す。
- 27 . ラットの腹腔内投与時の保定法として、正しいものをひとつ選びなさい。
- 1 ) 頸背部皮膚を大きく、しっかりとつかみ、持ち上げる。前肢と後肢が突っ張るようにする。
  - 2 ) 頸背部皮膚を大きく、しっかりとつかみ、持ち上げる。腹部の皮膚が突っ張らないようにする。
  - 3 ) 腰背部皮膚を大きく、しっかりとつかみ、持ち上げる。腹部の皮膚が突っ張るようにする。
  - 4 ) 頸背部皮膚を大きく、しっかりとつかみ、持ち上げる。腹部の皮膚が突っ張るようにする。
- 28 . ラットの皮下投与時の保定法として、正しいものをひとつ選びなさい。
- 1 ) 動物をケージまたは実験台の上にはわせ、親指と人差し指で頸背部皮膚を大きくつかむ。つかんだ皮膚と頭の間には三角の凹みを作るように動物をやや浮かせる。
  - 2 ) 動物をケージまたは実験台の上にはわせ、親指と小指で頸背部皮膚を大きくつかむ。つかんだ皮膚と頭の間には三角の凹みを作るように動物を押し付ける。
  - 3 ) 動物をケージまたは実験台の上に仰向けにし、親指と人差し指で頸背部皮膚を大きくつかむ。つかんだ皮膚と頭の間には丸い凹みを作るように動物をやや浮かせる。
  - 4 ) 親指と人差し指で頸背部皮膚を大きくつかんで動物を宙に浮かせる。つかんだ皮膚と頭の間には三角の凹みを作り、その間から針を刺入する。

29. 下記のうち、正しい説明をひとつ選びなさい。

- 1) ラットは自動給水装置から水を飲めない。
- 2) ケージや給水瓶などの飼育器具器材は、それらの材質にかかわらず、高圧蒸気による滅菌が簡単で確実な方法である。
- 3) ケージや給水瓶などの飼育器具器材の滅菌には、それぞれの材質を良く知り、その性質に応じて高圧滅菌やガス滅菌などの方法を使い分けることが重要である。
- 4) ラット室の温度は18～28℃、湿度40～65%、換気回数は10～15回/時間に設定されていることが望ましい。

30. 下記のうち、正しい説明をひとつ選びなさい。

- 1) 高湿度で幼弱ラットを飼育すると、リングテールを引き起こすことがある。
- 2) 飼料の消費量は動物の健康状態を知る重要な手段であるが、摂餌量の変化から健康状態を判断することはできない。
- 3) ラットはマウスに比べて体が大きいため、血液や生体材料が多く利用できるのが有利である。
- 4) ケージ交換作業時には、ケージを交換することに集中することが大事であり、体重、被毛のつや、眼・鼻・口・耳や肛門・生殖器周囲の観察などは別の機会に行わなければならない。

31. 下記のうち、正しい説明をひとつ選びなさい。

- 1) ラットの飼料には一般飼育用、繁殖用、放射線照射済飼料、高圧滅菌可能飼料などが市販されているが成分には違いがない。
- 2) ラットの飼料には一般飼育用しかないののでどんな実験でも一種類の飼料しか使用できない。
- 3) ラットの感染症はマウスのそれにほぼ一致するため、微生物モニタリングはマウスのデータで代用できる。
- 4) ラットの感染症はマウスのそれにほぼ一致するが、微生物モニタリングをマウスのデータで代用することはできない。

32. 下記のうち、正しい説明をひとつ選びなさい。

- 1) ラットで摂餌量が減少し、頸部が腫れ、目の周囲や鼻に出血性の分泌物が認められたら唾液腺炎(SDA)を疑う。
- 2) ラットで摂餌量が減少し、頸部が腫れ、目の周囲や鼻に出血性の分泌物が認められたらセンダイウイルス(HVJ)病を疑う。
- 3) ラットで摂餌量が減少し、頸部が腫れ、目の周囲や鼻に出血性の分泌物が認められたらマイコプラズマ病を疑う。
- 4) ラットで摂餌量が減少し、頸部が腫れ、目の周囲や鼻に出血性の分泌物が認められたらティザー病を疑う。

3 3 . 下記のうち、正しい説明をひとつ選びなさい。

- 1 ) 離乳前後の子ラットに呼吸器疾患様症状が現れ、剖検で肺に充血や肝性変化が見られたら唾液腺涙腺炎(SDA)を疑う。
- 2 ) 離乳前後の子ラットに呼吸器疾患様症状が現れ、剖検で肺に充血や肝性変化が見られたらセンダイウイルス(HVJ)病を疑う。
- 3 ) 離乳前後の子ラットに呼吸器疾患様症状が現れ、剖検で肝臓に充血や白斑が見られたらマイコプラズマ病を疑う。
- 4 ) 離乳前後の子ラットに呼吸器疾患様症状が現れ、剖検で肺に充血や肝性変化が見られたらティザー病を疑う。

3 4 . 下記のうち、正しい説明をひとつ選びなさい。

- 1 ) ラットにおいて呼吸器の異常音を発し、関節炎様症状も見られたら唾液腺涙腺炎(SDA)を疑う。
- 2 ) ラットにおいて呼吸器の異常音を発し、関節炎様症状も見られたらセンダイウイルス(HVJ)病を疑う。
- 3 ) ラットにおいて呼吸器の異常音を発し、関節炎様症状も見られたらマイコプラズマ病を疑う。
- 4 ) ラットにおいて呼吸器の異常音を発し、関節炎様症状も見られたらティザー病を疑う。

3 5 . 下記のうち、正しい説明をひとつ選びなさい。

- 1 ) ラットにおいて剖検により唾液腺周囲の浮腫が観察されたら唾液腺涙腺炎(SDA)を疑う。
- 2 ) ラットにおいて剖検により唾液腺周囲の浮腫が観察されたらセンダイウイルス(HVJ)病を疑う。
- 3 ) ラットにおいて剖検により唾液腺周囲の浮腫が観察されたらマイコプラズマ病を疑う。
- 4 ) ラットにおいて剖検により唾液腺周囲の浮腫が観察されたらティザー病を疑う。

3 6 . 下記のうち、正しい説明をひとつ選びなさい。

- 1 ) ラットコロニーの一部に肝炎や腸炎の症状が現れたが、大部分は何の症状も観察されなかったので唾液腺涙腺炎(SDA)を疑った。
- 2 ) ラットコロニーの一部に肝炎や腸炎の症状が現れたが、大部分は何の症状も観察されなかったのでセンダイウイルス(HVJ)病を疑った。
- 3 ) ラットコロニーの一部に肝炎や腸炎の症状が現れたが、大部分は何の症状も観察されなかったのでマイコプラズマ病を疑った。
- 4 ) ラットコロニーの一部に肝炎や腸炎の症状が現れたが、大部分は何の症状も観察されなかったのでティザー病を疑った。

37. 下記のうち、正しい説明をひとつ選びなさい。

- 1) ラットをマウスと比較すると、妊娠期間、哺乳期間はほぼ同じで、約3週間である。
- 2) ラットをマウスと比較すると、妊娠期間、哺乳期間はほぼ同じで、約4週間である。
- 3) ラットをマウスと比較すると、妊娠期間、哺乳期間はほぼ同じで、約5週間である。
- 4) ラットをマウスと比較すると、妊娠期間、哺乳期間はほぼ同じで、約6週間である。

38. 下記のうち、正しい説明をひとつ選びなさい。

- 1) ラットをマウスと比較すると、体の大きさは成獣ではマウスの約3倍である。
- 2) ラットをマウスと比較すると、体の大きさは成獣ではマウスの約10倍である。
- 3) ラットをマウスと比較すると、体の大きさは成獣ではマウスの約25倍である。
- 4) ラットをマウスと比較すると、体の大きさは成獣ではマウスの約50倍である。

39. 下記のうち、正しい説明をひとつ選びなさい。

- 1) ラットの性周期は規則的で、2~3日を周期として現れ、膣垢検査によって確認することが出来る。
- 2) ラットの性周期は規則的で、4~5日を周期として現れ、膣栓検査によって確認することが出来る。
- 3) ラットの性周期は規則的で、6~7日を周期として現れ、子宮検査によって確認することが出来る。
- 4) ラットの性周期は規則的で、4~5日を周期として現れ、膣垢検査によって確認することが出来る。

40. 下記のうち、正しい説明をひとつ選びなさい。

- 1) 性周期は発情前期、発情期、発情後期、休止期の順でそれぞれ約1日毎に現れるが、交配には発情後期の雌を雄のケージに入れ、同居させるとよい。
- 2) 性周期は発情前期、発情期、発情後期、休止期の順でそれぞれ約2日毎に現れるが、交配には発情前期の雌を雄のケージに入れ、同居させるとよい。
- 3) 性周期は発情前期、発情期、発情後期、休止期の順でそれぞれ約3日毎に現れるが、交配には発情前期の雌を雄のケージに入れ、同居させるとよい。
- 4) 性周期は発情前期、発情期、発情後期、休止期の順でそれぞれ約1日毎に現れるが、交配には発情前期の雌を雄のケージに入れ、同居させるとよい。

41. 下記のうち、正しい説明をひとつ選びなさい。

- 1) ラットの交尾が確認された日を0日とすると15~17日目に出産する。
- 2) ラットの交尾が確認された日を0日とすると21~23日目に出産する。
- 3) ラットの交尾が確認された日を0日とすると24~26日目に出産する。
- 4) ラットの交尾が確認された日を0日とすると31~32日目に出産する。

4 2 . 下記のうち、正しい説明をひとつ選びなさい。

- 1 ) ラットの交尾が確認された日を0日とすると6日目頃に腹部の触診により胎子を確認することができる。
- 2 ) ラットの交尾が確認された日を0日とすると8日目頃に腹部の触診により胎子を確認することができる。
- 3 ) ラットの交尾が確認された日を0日とすると10日目頃に腹部の触診により胎子を確認することができる。
- 4 ) ラットの交尾が確認された日を0日とすると14日目頃に腹部の触診により胎子を確認することができる。

4 3 . 下記のうち、正しい説明をひとつ選びなさい。

- 1 ) ラット新生子の体重は1～2gで無毛、開眼しておらず、歯も生えていない。
- 2 ) ラット新生子の体重は5～6gで無毛、開眼しておらず、歯も生えていない。
- 3 ) ラット新生子の体重は8～10gで無毛、開眼しておらず、歯も生えていない。
- 4 ) ラット新生子の体重は5～6gで無毛、開眼していないが、歯は生えている。

4 4 . 下記のうち、正しい説明をひとつ選びなさい。

- 1 ) ラットは生後5～6日目に産毛が生えはじめ、9～10日目頃に密な被毛で覆われる。
- 2 ) ラットは生後5～6日目に産毛が生えはじめ、15～20日目頃に密な被毛で覆われる。
- 3 ) ラットは生後5～6日目に産毛が生えはじめ、20～25日目頃に密な被毛で覆われる。
- 4 ) ラットは生後2～3日目に産毛が生えはじめ、15～20日目頃に密な被毛で覆われる。

4 5 . 下記のうち、正しい説明をひとつ選びなさい。

- 1 ) スナネズミには近交系とよばれるものはなく、クローズドコロニーの系統だけである。
- 2 ) 幼若スナネズミの性別判定は、肛門と外部生殖器の距離により容易に判定できる。
- 3 ) スナネズミはモンゴリアンジャービルと呼ばれ、日本で実験動物化された数少ない動物の1つである。
- 4 ) スナネズミの尾は長く密生した被毛が生えているのが大きな特徴で、眼はアルビノで赤い。

4 6 . 下記のうち、正しい説明をひとつ選びなさい。

- 1 ) スナネズミを微生物統御で区分すると、SPF動物だけが市販されている。
- 2 ) スナネズミは微生物学的にコンベンショナル動物だけしか市販されていない。
- 3 ) スナネズミのSPF動物では寄生虫の污染が見られるので注意する必要がある。
- 4 ) スナネズミのコンベンショナル動物では寄生虫の污染が見られるので注意する必要がある。

47. 下記のうち、正しい説明をひとつ選びなさい。

- 1) スナネズミでは交尾後、大きくて明瞭な膣栓が認められる。
- 2) スナネズミの交尾の確認は膣スミアで精子を確認するのが良い。
- 3) スナネズミは出産時に巣を作り、上手に授乳する。
- 4) スナネズミは哺育が上手なので、哺育中に飼育室内の温・湿度に配慮する必要はない。

48. 下記のうち、正しい説明をひとつ選びなさい。

- 1) スナネズミの食性は草食性である。
- 2) スナネズミの食性は肉食性である。
- 3) スナネズミの食性は雑食性である。
- 4) スナネズミの食性は草食性と肉食性を合わせもっている。

49. 下記のうち、正しい説明をひとつ選びなさい。

- 1) 成熟したスナネズミの1日1匹あたりの摂餌量は1~3gといわれている。
- 2) 成熟したスナネズミの1日1匹あたりの摂餌量は5gといわれている。
- 3) 成熟したスナネズミの1日1匹あたりの摂餌量は10~15gといわれている。
- 4) 成熟したスナネズミの1日1匹あたりの摂餌量は15~30gといわれている。

50. 下記のうち、正しい説明をひとつ選びなさい。

- 1) スナネズミの妊娠期間は15~17日である。
- 2) スナネズミの妊娠期間は20~21日である。
- 3) スナネズミの妊娠期間は24~26日である。
- 4) スナネズミの妊娠期間は30~31日である。